令和８年１１月２日
調　　査

経済福祉常任委員会資料

調査事件５　　所管関係施設・事業等の町内視察、
執行方針の取り組み状況について

１　所管関係施設・事業等の町内視察　・・・・・・・・　２
２　執行方針の取り組み状況　・・・・・・・・・・・・・　７
３　工事等一覧表　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１４

議会事務局

１　所管関係施設・事業等の町内視察

令和８年１１月２日（月）

予定時間	地区	調査項目（事業）	担当課	資料
９：３０		開会		
９：５０	館　崎	－３.０ｍ岸壁改良工事（吉岡漁港）	産業課	
１０：０５	館　崎	流水用集水桝（館崎地区）	建設課	３
１０：２０	館　崎	粗大ごみ保管場所	町民課	４
１０：３５	豊　浜	流水用集水桝（豊浜地区）	建設課	５
１０：５０	日　向	流水用集水桝（日向地区）	産業課	６

予定時間	調査項目（事業）	場所
１１：１０	検討会	議場


流水用集水桝：館崎地区
至函館
館崎2・3町内会館
字館崎
国道228号
館崎地区流水用集水桝
字館崎210番地先

粗大ごみ保管場所（館崎ずり捨て場）

○保管場所全体写真

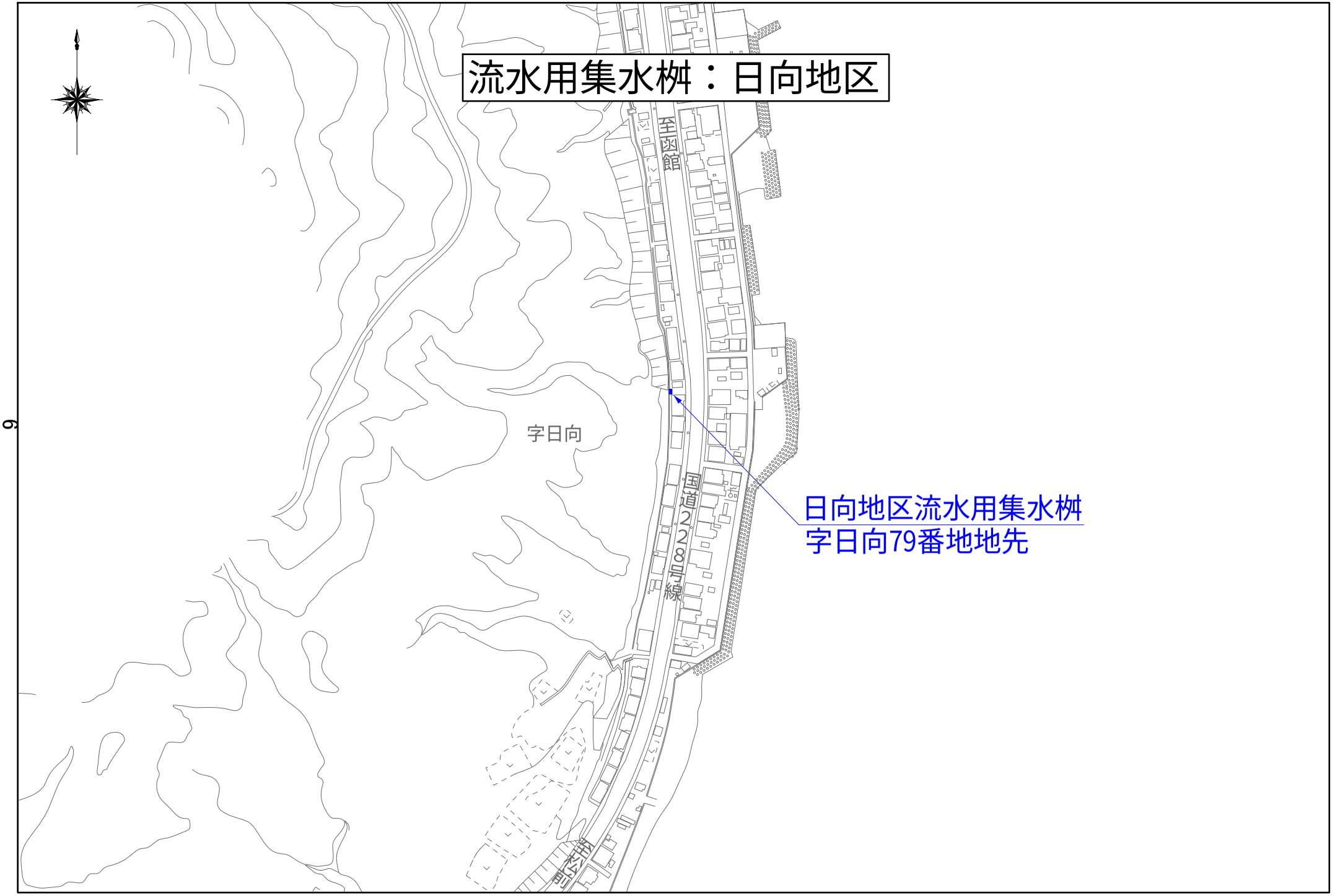


○保管場所位置図



流水用集水桝：豊浜地区




流水用集水桝：日向地区
至函館
字日向
国道228号線
日向地区流水用集水桝
字日向79番地地先

２　執行方針の取り組み状況

〔令和８年１１月２日（月)〕

施策の内容	確認内容等	担当課
産業を活性化し、地域資源を生かすまちづくり	（１)持続可能な前浜資源の確保対策について	産業課 水産係
	（２)ナラ枯れによる町内森林の被害状況と対応について	産業課 農林係
	（３）岩部クルーズの運航実績と課題について	産業課 商工観光係
	（４）プレミアム商品券の発行状況と課題について	産業課 商工観光係
福祉・医療が充実し互いに認め合えるまちづくり	（１）温泉健康保養センターの利用状況等について	福祉課
	（２）各種ガン予防対策の取り組み状況について	福祉課
生活基盤が安定し、安全安心に暮らせるまちづくり	（１）町営・町有住宅の利用状況と課題について	建設課
	（２）町内の空家状況と補助金制度利用実績について	建設課
	（３）浄化槽整備の普及状況と課題について	町民課

１　産業を活性化し、地域資源を活かすまちづくり

（１）持続可能な前浜資源の確保対策について（産業課水産係）

当町の基幹産業である養殖コンブ漁業は、地球温暖化に伴う海水温の上昇などの影響により、道内において天然コンブの不漁が続く中、令和７年の生産額が９億７千万円に達しており、令和８年も昨年度に引き続き水揚げは順調に推移し、現在は製品の生産作業が進められております。

養殖昆布の生産量は、ここ数年安定した生産が続き昨年同様に生産額のさらなる上昇が期待されております。

また、ウニについても、高値で推移しており、令和７年のキタムラサキウニの水揚額は約２億２千万円とここ数年で最高額となっており、令和８年の水揚額も計画額１億４千万円を上回る約１億９千万円となっております。

ウニ漁は年齢を問わず中長期的に従事できる漁業であり、当町の前浜の貴重な収入源となっております。

さらに、養殖コンブ及びウニに続く魚種として、令和７年度からナマコの生産性向上を目指し、ナマコ漁礁での稚仔の成長を促進する事業を実施しており、順調に成長する調査結果も得られていることから、今後の漁獲に期待しているところであります。

（２）ナラ枯れによる町内森林の被害状況と対応について（産業課農林係）

当町のナラ枯れ被害は、令和５年度に初めて被害木が確認されて以降、毎年被害木の調査及び処理を行っております。令和８年度には、町有林で確認された計３７本の被害木を立木燻蒸による処理を行っております。

また、7月には北海道及び関係機関による道南地域のカシノナガキクイムシのモニタリング調査が実施され、町内６か所において計２０７個体が確認されております。

町では、北海道が策定した「ナラ枯れ被害対策基本方針」及び「ナラ枯れ被害木処理マニュアル」に基づき、対応可能な被害木の適切な処理を進めてまいりますが、８月以降は、葉の変色等によりナラ枯れ被害を確認しやすい時期となりますので、町民の財産に危険が及ぶことがないよう、ナラ枯れ被害重点調査期間となる１０月１日～１０月３０日まで、関係機関と連携を図り監視パトロールを強化するとともに、今後の対応に努めてまいります。

（３）　岩部クルーズの運航実績と課題について（産業課商工観光係）

当町の観光の目玉事業として成長した「岩部クルーズ」は、これまで順調に利用者数を伸ばしてまいりましたが、今年度は近年にない天候不良の影響により、利用実績は昨年度を下回り、令和８年度の乗船者は1,208人となりました。

しかし、予約人数は大きな変動がなく、約4,000人弱で推移しており、乗船者等からは依然として高い評価をいただいております。

クルーズ事業は、天候の影響を受けやすく、出航が困難となる場合もありますが、今後も福島町の知名度向上と観光客の増加を目指し、安全運航の確保に努めるとともに、地域資源の魅力発信と交流人口の拡大に努めてまいります。

（４）プレミアム商品券の発行状況と課題について（産業課商工観光係）

継続実施しているプレミアム商品券発行事業については、商品券のプレミアム率を３０％として発行しております。

令和８年度の販売状況は、３，３００組の発行予定に対し、３，０７３組の販売となり、概ね希望する町民の皆様に購入いただいており、地域経済の活性化に大きく寄与しております。

商品券の利用業種については、これまでの実績から一定の偏りがありますが、商工会及び商工振興組合との連携を密にしながら、地域商工事業の振興及び維持に努めてまいります

業　種	R3 (割合:%)	R4 (割合:%)	R5 (割合:%)	R6 (割合:%)	R7 (割合:%)	R7 (金額：千円)
食料・酒・雑貨	23.88	22.05	22.78	21.30	21.89	8,880
家具・家電	20.79	17.69	17.60	17.80	18.95	7,687
その他小売	2.98	3.43	2.84	3.28	2.18	886
ｶﾞｿﾘﾝｽﾀﾝﾄﾞ・燃料店	44.93	50.08	50.08	51.23	50.34	20,426
自動車・船・機械	1.01	0.83	0.98	0.88	0.45	183
飲食・旅館	0.83	0.74	0.57	0.68	0.56	228
生活関連ｻｰﾋﾞｽ業	0.90	1.00	1.15	0.94	1.20	486
その他ｻｰﾋﾞｽ業	0.00	1.52	1.55	1.61	1.53	621
製造業	1.80	1.71	1.77	1.85	1.81	734
建設・土木等	0.00	0.13	0.00	0.00	0.56	229
その他	2.88	0.82	0.68	0.43	0.53	215
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	40,575

３　福祉・医療が充実し互いに認め合えるまちづくり

（１）温泉健康保養センターの利用状況等について（福祉課）

①　入館者の推移について

温泉健康保養センターの入館者については、令和 6 年 4 月の新施設オープン後、令和 6 年度 68,431 人、令和 7 年度 66,347 人（1 日の平均利用者数 221 人）で推移しており、昨年度はヒグマ警報発令に伴う時短営業や、津波警報発令に伴う臨時休館等の影響がある中で、前年度からの減少はあったものの、旧施設の平均利用者数の 5 万 7 千人に比べて増加しております。

（単位：人、日）

区分	R5	R6	R7	R8(9 月末)
入館者数	56,791	68,431	66,347	36,922
営業日数	308	293	300	156
入館者数（人/日）	184	234	221	237

② 使用料収入の推移について

使用料収入については、旧施設時の 370 万円前後での推移に対し、新施設オープン後は、令和 6 年度 598 万円・令和 7 年度 550 万円と、大幅に増加しております。

なお、指定管理者制度の導入に伴い、利用料金制度を採用しているため、温泉使用料は指定管理者の収入となっておりますが、年度協定に基づき臨時休館及び風呂の日の無料開放に係る使用料の減収分については町で補填しております。

（単位：人、組、千円）

区分	R5	R6	R7	R8(9 月末)
1 回券大人	11,334	17,480	15,859	9,630
回数券	475	728	700	377
温泉使用料	3,879	5,983	5,504	3,237

③ 指定管理料の推移について

指定管理料については、人件費等の単価アップ等に伴い増加傾向ですが、新施設では、木質バイオマスボイラーの導入により燃料費が大幅に減少しております。

（単位：千円）

区分	R5	R6	R7	R8 当初	R8(9 月末)
指定管理料 A	54,238	53,377	55,384	58,239	－
うち燃料費分	17,265	8,903	10,473	9,716	4,544
灯油・重油代	17,265	3,696	4,589	3,036	2,246
木質チップ代	－	5,207	5,884	6,680	2,298
A に係る燃料費の割合	31.8%	16.7%	18.9%	16.7%	－

（2）各種ガン予防対策の取り組み状況について（福祉課）

町では、平成 28 年度制定の「福島町がんなんかに負けない基本条例」に基づき、町民のがん検診の無料化や啓発活動を推進するなど、各種検診の受診率の向上に努めております。

各種がん検診の状況は、町内医療機関の協力もあり、胃がん検診は概ね横ば

いの受診者数ですが、その他検診は、対象者の減少により受診者も減少傾向となっております。

このような状況を踏まえ、受診啓発に重点を置いた取り組みとして、今年2月には乳がん、10月には子宮がんの各検診に関するパンフレットを、町内医療機関や町内全戸へ配布するなどの受診勧奨を実施しております。

また、町民のがんに対する意識づけを図るため、昨年11月に医師や患者家族を講師に「福島町がん予防講演会」を開催しており、今年度についても年内に開催を予定しております。

その他、町内の医師・薬剤師等で組織する三師会をはじめ、地域団体の皆様とともに構成する実行委員会の主催による健康フェスティバルを9月5日に開催するなど、町民の健康意識の醸成に努めております。

■各種がん検診受診状況　（単位：人、％）

区分		R5	R6	R7	R8(9月末)
胃がん（40歳以上）	対象者	1,156	1,117	1,080	1,041
	受診者	231	245	245	157
	受診率	20.0	21.9	22.7	15.1
肺がん（40歳以上）	対象者	1,156	1,117	1,080	1,041
	受診者	432	543	481	336
	受診率	37.4	48.6	44.5	32.3
大腸がん（30歳以上）	対象者	1,241	1,201	1,161	1,119
	受診者	377	348	312	221
	受診率	30.4	29.0	26.9	19.7
乳がん（30歳以上）2年に1回	対象者	667	646	623	602
	受診者	139	132	119	22
	受診率	20.8	20.4	19.1	3.7
子宮がん（20歳以上）	対象者	692	674	650	626
	受診者	160	166	137	30
	受診率	23.1	24.6	21.1	4.8

４　生活基盤が安定し、安全安心に暮らせるまちづくり

（１）町営・町有住宅の利用状況と課題について（建設課）

町営及び町有住宅の10月8日現在の利用状況は、町営住宅の管理数は28棟184戸となっており、空室が16戸で入居率が91.3%となっております。

次に、町有住宅の現在の管理数は6棟15戸で、空室は用途廃止予定の千軒町有住宅の1戸のみとなっております。

なお、団地毎の入居率の状況は、丸山団地が98.5%、三岳団地が81.0%、美

山団地が 75.0％となっており、新しい住棟ほど空室が少なく、美山団地については中心部より離れていることなど、空室が多い原因に繋がっております。

公営住宅については、新たな入居者に対応する為に一定の空室を確保しておく必要性はあるものの近年の空室の状況は、人口減少等により当初の想定よりも多い傾向にあります。

今後の課題としては､入居者から老朽化している丸山団地 S58 年棟及び S60 年棟の居住環境の改善が望まれております。要望されている丸山団地 S60 年棟は現在 3 年計画で改修を進めており、丸山団地 S58 年棟は令和 10 年度より水洗化等の改修を計画しております。

町では､当面する課題を優先的に整理し､それにより町営住宅の今後の必要戸数も明らかになると考えており、三岳団地の長寿命化と合わせて検討してまいります。

（２）町内の空家状況と補助金制度利用実績について（建設課）

現在の空家件数については、水道会計システムの水道休止者リストから抽出しており、現状では 243 件となっております。

補助金制度の利用実績については、下表のような内容となっており過去 5 年では 117 件、平成 28 年の制度創設からの累計は 234 件となっております。

平成 27 年 11 月調査時点では完全空家は 266 件となっており、今回の 243 件とは調査方法が違う為一概に判断は出来ませんが、空家補助金を利用して解体が進んだことにより、空家件数の増加が抑えられている傾向にあります。

これからも､特定空家の除却や空家補助制度の積極的な運用により､町内空家の抑制に努めてまいります。

○空家補助利用件数一覧表（令和 8 年 10 月 8 日現在）

年度	R4	R5	R6	R7	R8	合計
件数	23 件	29 件	23 件	16 件	26 件	117 件

（３）浄化槽整備の普及状況と課題について（町民課）

浄化槽の整備状況について、町では平成２３年度から浄化槽整備事業を開始しており､これまでに１９４基の浄化槽が設置されております。これに譲渡分２５基を加え、令和 7 年度末現在、町が管理する浄化槽は合計２１９基となっております。

また、浄化槽事業会計管理分に公営住宅などの公共分を含めた町内の浄化槽対応世帯は３４７世帯となっており、令和７年度末の人口３，２２０人に対する汚水処理人口は９６４人で､汚水処理人口普及率（生活排水処理施設を利用できる割合）は、２９．９％となっております。

引き続き、生活排水環境の向上に向けて浄化槽設置の普及に努めてまいりま

す。

なお、浄化槽整備事業は開始からすでに１５年以上が経過し、施設の老朽化が見え始めてきており、適切な保守点検を継続するなど、引き続き、安定的な活用を図ってまいります。

3　工事等一覧

担当課名：産業課　　（単位：千円）

番号	事業及び工事名	事業の内容等	事業費	請負業者名	着工／完成
1	林道島前線道路改良工事	島前線改良 L＝8m	10,010	安岡建設工業 株式会社 代表取締役 安岡　一博	着手 R8.9.29 完了 R8.12.25
2	福島漁港トイレ擁壁補修工事	福島漁港トイレ擁壁の改修	2,310	有限会社創拓建設 代表取締役 上嶋　利洋	着手 R8.4.17 完了 R8.8.31
3	コンブ養殖係留ブロック改修工事	コンブ養殖ブロック係留環の改修	11,550	安岡建設工業 株式会社 代表取締役 安岡　一博	着手 R8.7.10 完了 R9.1.29
4	館崎三鹿宅前船揚場改修工事	船揚場の舗装及び擁壁の改修	3,487	有限会社創拓建設 代表取締役　上嶋利洋	着手 R8.7.9 完了 R9.1.29
5	千軒地区観光拠点整備事業	トイレ改修、施設のバリアフリー化、厨房の改修など	12,760	有限会社古谷建設 代表取締役 古谷　貴志	着手 R8.10.14 完了 R9.3.31

担当課名：町民課　　（単位：千円）

番号	事業及び工事名	事業の内容等	事業費	請負業者名	着工／完成
1	福島町吉岡寺町墓地通路改修工事	アスファルト舗装 Ｌ＝73m　Ｗ＝3m	7,249	有限会社創拓建設 代表取締役 上嶋　利洋	着手 R8.4.17 完了 R8.8.31
2	浄化槽設置（その１）工事	５人槽　５基	16,148	安岡建設工業 株式会社 代表取締役 安岡　一博	着手 R8. 9.10 完了 R8.12.21

担当課名：福祉課　　（単位：千円）

番号	事業及び工事名	事業の内容等	事業費	請負業者名	着工／完成
1	吉岡温泉サイロ室外改修工事	・サイロ室内部の改修 ・男女大風呂に手摺りの設置	5,378	株式会社金澤建設 代表取締役 金澤　淳悦	着手 R8.4.27 完了 R8.7.30

担当課名　建設課　　（単位:千円）

番号	事業及び工事名	事業の内容等	契約額	請負業者名	着工／完成
1	町道赤川２号線整備工事	道路改良 L=68m W=5.0m	30,844	安岡建設工業 株式会社 代表取締役 安岡 一博	着手 R8. 4.16 完了 R8. 9.30

2	町道駅前団地2号線外整備工事	道路改良 L=175.7m W=4.6m	40,260	中塚建設株式会社 代表取締役 中塚 徹朗	着手 R8. 4.17 完了 R8. 7.31
3	折加内橋橋梁補修工事	橋梁補修 １橋	24,530	株式会社石岡組 代表取締役 石岡 眞	着手 R8. 6.25 完了 R8.12.25
4	町道公営住宅線整備工事	L=123m W=7.5m	36,080	株式会社石岡組 代表取締役 石岡 眞	着手 R8.10.14 完了 R9. 3.25
5	丸山団地(S60-1 号室)内装外改修工事	内装改修	4,895	柏崎工務店 代表　柏崎　進一	着手 R8.5.13 完了 R8.9.30
6	丸山団地(S60-2 号室)内装外改修工事	内装改修	4,775	土門建設 代表　土門　忠紀	着手 R8.5.15 完了 R8.9.30
7	丸山団地(S60-3 号室)内装外改修工事	内装改修	4,818	澤田建築木工 代表　澤田　悟	着手 R8.5.18 完了 R8.9.30
8	丸山団地(S60-4 号室)内装外改修工事	内装改修	4,882	有限会社インテリア小笠原 代表取締役 小笠原　幸助	着手 R8.5.18 完了 R8.9.30
9	千軒地区減圧弁取替工事	減圧弁φ75　1式 HPPEφ75　13.1m DIPφ75　6.2m	6,985	株式会社金澤建設 代表取締役 金澤　淳悦	着手 R8.7.23 完了 R8.12.15
10	町道汐見町４号線配水管布設工事	配水管布設 PPφ50　36.0m	3,410	株式会社石岡組 代表取締役 石岡 眞	着手 R8.8.27 完了 R8.11.30
11	岩部浄水場配水流量計更新工事	配水流量計　1式	7,975	北海道富士電機㈱ 取締役社長 谷村　修	着手 R8.7.27 完了 R8.12.15